

新ハイキングクラブ会長・新ハイキング社社長 鮫島員義

既にお伝えした通り、市販月刊誌としての『新ハイキング』は本年11月に発行の12月号で発行を中止することにしました。これはひとえに会員数の減少と、書店における販売部数が採算ラインを大きく下回ったままで、挽回の見込みが立たず、経営面から発行し続けることができなくなったことによります。実態は数年ほど以前から採算割れでしたが、これまでの蓄積の持ち出しで発行し続けてきましたが、その蓄積も底をついてきたためです。

そこで、2018年以降以下の方針といたく考え、委員の皆さまにご意見を諮りました。

- ① 月刊誌『新ハイキング』は一般の書店で購入ができなくなります。
このため「書店で新ハイを見て入会する方」は期待できなくなります。
- ② 『新ハイキング』はクラブの会報となり、山行計画・山行報告・支部の動き・せせらぎなどから構成し、紀行とガイド、グラビアページなどは無くなります。このため従来の半分以下の頁数になる見込みです。
- ③ これに伴い年会費の見直しを以下の通り行います。
1年会費：7,000円 → 5,000円
2年会費：12,500円 → 9,000円
お試し会費：4,000円 → 2,500円
この他の、入会金(600円)、Web会費(1,000円/年)についての変更はありません。
- ④ 切り替え時には、個々の会員別に残月数を把握したうえで、以下の選択の問い合わせを行います。
 - a. クラブ会員として継続→残存月数×掛け率=会員期間の延長 → 会員証の再発行
… 延長月数の算出：残月数×1.4→切り上げ (返答の都度、会員証の再発行)
 - b. 購読中止=退会→返金・・・返金額：残月数×¥500-送金手数料
(連絡を受けた口座番号宛てに4月頃を目途に、一斉に送金の予定)8月に発行の『新ハイ通信』にこれらを記載して連絡をし、a. b. いずれを選択するかにつきといあわせをします。延長の方々には会員証の再発行をします。
中止の場合にはご本人の口座番号付きで連絡をもらい、本年中に支払いを完了することを目指します。
- ⑤ 山行時集金額(保険代を含む参加費)を+100つつアップします。
山行保険(レク保険 or 国内旅行保険)を含む山行参加費は、日帰り山行だとこれまで¥100/人でしたが、これを¥200/人にアップし、会報の送料や事務所の運営費の一部に充当したいと考えています。

⑥ 2018 年を期して、クラブの活動を一層活発、山行などに参加しやすくするために以下の施策を実施することを目指します。

1. 山行計画の詳細をHPに掲載し、承諾をされた委員の山行については Web からの申し込みができるようにします。(¥129 円の往復葉書の申し込みが不要になる)
2. 山行報告が Web (HP) で閲覧できるようにし(この場合は個人名は削除)、山名検索の対象にもします。

* 山名検索は、～2017 年号までは従来通り紀行とガイドを掲載

2018 年～は山行報告をアップ。

⑦ クラブの組織はできるだけ現状通りで継続したく考えますが、会員組織に切り替える上で、会員の意思を吸い上げる仕組みが必須です。そこで本部委員のみなさんに本来の委員—会員からの信任を得てクラブの決定を任される仕組みとして、1 回/年に会員からの信任を得る仕組み(最高裁判所判事の国民投票の様に)を検討しています。

これによって、これまで通り実質的な審議を委員会で討議し、これをクラブとしての決定機関であることがより明確にできるものと考えました。

詳細については追って運営委員会で協議し、委員会に諮らせていただきます。

その他、「お山の教室」は継続/発展

新ハイキング検定の開始

初めは、リーダーをしている中で参加される方に・ぜひとも伝えておきたいこと・わきまえておいてほしい事をまとめて冊子にし、その中から設問を作ることを考えています。「新ハイキング検定作成委員会」を立ち上げたく考え、参加いただける方を募集します。

支部については引き続き検討中で、固まり次第支部長会で検討いただき、委員会で協議の上支部長経由ご連絡する予定です。

以上の変更により、クラブの活動を経済的に支えてきた新ハイキング社からの支援が無くなり、クラブが経済面で自律する必要が生じます。このために事務所の縮小(移転)、スタッフの削減などをはじめ可能な限りのコストダウンに努めますので、一部みなさんにご迷惑をお掛けする面があるかもしれませんがご了承いただきたくお願いいたします。

以上

2018年以降の新規構想

会員にとって望ましい施策（安全・安心でバラティーに富んだ楽しい山行の為に）
リーダーがやりがいのあるクラブの在り方・山行の為に施策

- ・ メールなどによる山行申込が可能になるシステムの開発
- ・ 山行報告をWeb配信 …… 山名検索の対象とする
- ・ 支部共通ホームページの推進（すでに推進中）
- ・ 新ハイ検定
…… 新ハイの山行に参加するにあたっての基本知識を伝える

従来からの新ハイキング(本部)ならでの施策

- ・ 67年間の安全・安心な山行をする『新ハイキング』への信頼感(ブランド)
これに基づく新入会員の加入 → 支部へ紹介
- ・ クラブの活動の要となる「会報」としての『新ハイキング』の発行と配布
- ・ クラブ全体のホームページの運用と
支部のホームページにリンクして紹介
- ・ 山名検索 → 記事のWeb配信
： 知られざるコースなどのガイドを簡単に入手
- ・ 「お山の教室」及びこれに係るメールマガジン
- ・ 会費の自動振込システム
- ・ サービスチェーンとの連携
- ・ 支部クラブ(本部)合同山行の実施 …… 本部会員の勧誘の機会
- ・ 支部どうしでの参考情報の交換—支部長会の定期開催
- ・ 支部グループ保険
- ・ 支部報の割安料金での代行発送
- ・ 統一の勧誘パンフレットの作成：このパンフの無料提供
- ・ トランシーバー購入代金補助
- ・ 集中山行
- ・ クラブ懇親会

以上